

第2項先進医療の新規届出技術について
(9月受付分)

先 - 1
21.11.11

整理番号	技術名	適応症等	先進医療費用※1 (自己負担分)	保険外併用療養費※1 (保険給付分)	受付日 ※2	事前評価 担当構成員 (敬称略)	総評	その他 (事務的対応等)
186	網羅的迅速解析法を用いた造血細胞移植等後免疫不全患者に対するウイルスモニタリング	・造血細胞移植後免疫不全患者、腎・肝移植後免疫不全患者。 ・先天性免疫不全患者、後天性免疫不全患者(HIV感染症を含む)の日和見ウイルス感染症のスクリーニング。	2万1千円	333万1千円	H21.8.25	—	—	返戻(書類不備)
187	腹腔鏡下根治的膀胱全摘除術	浸潤性膀胱癌	54万8千円	62万1千円	H21.8.25	—	—	返戻(書類不備)
188	肝硬変症に対する自己骨髄細胞投与療法	非代償性肝硬変症で以下の条件を満たすもの。 1) 総ビリルビン値が3.0mg/dl以下である。 2) 血小板数が $5.0 \times 10^{10}/l$ 以上である。 3) 出血の危険性のある食道胃静脈瘤が存在しない。 4) 心肺機能が良好で、その他に重篤な併存疾患が認められない。 5) CT、MRI等の画像診断で検出される肝細胞癌がない。	215万円	82万6千円	H21.9.10	猿田 享男	適	別紙1

※1 典型的な1症例に要する費用として届出医療機関が記載した額。

※2 20日以降の受付の場合は翌月受付分として処理している。